

第二次多摩市特別支援教育推進計画の検証と今後の取り組み（案）

【評価指標について】※その年度の達成状況についての評価

『A』… 達成又は計画通りに進んでいる

『B』… 進捗に遅れはあるが、計画年度内には、概ね達成する見込み

『C』… 進捗が遅れており、計画年度内に目標まで達しない見込み

『D』… 進捗が大幅に遅れている、または未着手

○学校の取り組み内容について、校長会からの意見などを参考に事務局が案として記載した。

方向性Ⅰ【冊子Ⅱ～Ⅳページ】

個々の特性に応じた一貫性のある支援を推進するため、校内支援力の向上を進めます。

①校内委員会の活用

取組項目				
校内委員会を活用した、組織的な特別支援教育の実践方法に関する取り組み				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
検証と見直し	令和 5 年度	○特別支援教育に関わる情報収集・発信、関係機関との更なる連携の充実、校内委員会を中心とした教職員の専門性の向上に資する取り組みを進められると良い。 ○校内委員会の構成メンバーを工夫し、様々な立場からの意見を基に、児童の支援等について考えていく。	○特別支援教育コーディネーターの資質の向上のための研修（担任へのコーディネートの方法、面談の方法）を実施する。 ○特別支援教室担当教員連絡会における、校内委員会の開催方法等に関する情報共有の機会の設定	B
		【令和3～5年度の取り組みより】 校内委員会の活用方法の各校の取組について情報収集を行い、特別支援教育コーディネーター研修では、校内委員会の演習や他校との情報交換を行った。また特別支援教育コーディネーターが、児童の実態把握、保護者との連携を適切にとり、特別な支援が必要な児童への支援を進めてきた。今後は特別支援教育に関わる情報収集・発信、関係機関との更なる連携の充実、校内委員会を中心とした教職員の専門性の向上に資する取り組みを進められると良い。		
今後の取り組み				
取り組みの継続・改善事項の実践	令和 6 年度 令和 7 年度	○特別支援教育コーディネーター研修における、コーディネーター同士の情報交換の機会を設定する。 ○特別支援教育コーディネーターの役割や実務に関する研修を継続する。 ○校内委員会の構成メンバーを工夫し、様々な立場からの意見を基に、児童の支援を行う。		

②個別指導計画・学校生活支援シートの作成と活用

取組項目				
多摩市共通の「学校生活支援シート」の作成				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
検証と見直し	令和 5 年度	○作成された「学校生活支援シート」の校内での共有の方法を検討する。 ○指導や支援を経て、記載内容の見直しも含め、作成と活用の意識を高めたい。	○記載内容の充実のための個別指導計画・学校生活支援シートの作成に関する研修を実施する。 ○特別支援教室担当教員連絡会における、個別指導計画・学校生活支援シートの実際の作成や活用方法に関する共有・協議の機会の設定及び二次元コードを活用した各校の取組状況に関する情報を収集する。	B
		【令和3～5年度の取り組みより】 特別支援学級・特別支援教室で確実に作成されているが、今後は、限られた期間と指導回数の中で、指導目標を焦点化した指導計画を作成する能力の向上が求められてくる。指導や支援を展開していく中で、記載事項もきちんとアップデートされているかなども含め、作成と活用の意識を高める必要がある。 様式については通常の学級でも必要に応じて市の様式で作成されている。そのため、様式の統一よりも、記載内容の充実や実際の活用がより重要と考えられる。		
今後の取り組み				
検証と見直し	令和 6 年度	継続 ○指導目標の焦点化等、指導計画を作成する資質の向上に向けた研修を継続する。 ○様式の統一よりも、記載内容の充実や実際の活用をより重点的に行う。 ○記載内容の充実のための個別指導計画・学校生活支援シートの作成に関する研修を実施する。		
	令和 7 年度	○特別支援教室担当教員連絡会における、個別指導計画・学校生活支援シートの実際の作成や活用方法に関する共有・協議の機会の設定及び各校の取組状況に関する情報収集を行う。		

取組項目				
知的障害学級共通の「個別指導計画」の検討委員会の実施・共通様式の活用				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
検証と見直し	令和 5年度	○児童・生徒のニーズを的確に捉えながら、適切な指導と必要な支援が盛り込まれた計画の作成を進める。また、児童・生徒の発達の段階や学び方を踏まえた個別の目標と活動のねらいを関連づけていく。	○記載内容の充実のための個別指導計画・学校生活支援シートの作成に関する研修を実施する。 ○特別支援教室担当教員連絡会における、個別指導計画・学校生活支援シートの実際の作成や活用方法に関する共有・協議の機会の設定及び各校の取組状況に関する情報収集を行う。	
		【令和3～5年度の取り組みより】 知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級共に各校の様式で確実に作成されている。また特別支援教室等では令和3年度から変更した共通様式での作成が定着した。特別支援学級には若手教員も多く、記載したことが抽象的で実際の学習活動と正対できていない場合も見受けられたので、記載内容を学級内で検討したり、共有したりすることが必要である		
今後の取り組み 取り組みの継続・ 改善事項の実践	令和 6年度	継続 個別の目標及び学校生活支援シートと関連した個別指導計画の作成に向けた研修を継続する。 児童・生徒のニーズを的確に捉えながら、適切な指導と必要な支援が盛り込まれた計画の作成を進める。また、児童・生徒の発達の段階や学び方を踏まえた個別の目標と活動のねらいを関連づけのスキルをつける。		

③特別支援教育実践事例集の作成

取組項目				
特別支援教育実践事例集作成委員会の実施及び実践事例集の作成				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
各分科会で検討	令和 5年度	○実践の共有を行うことは必要性がある。	○特別支援教育コーディネーター研修、特別支援教室担当教員連絡会における、各校の実践に関する情報共有の機会の設定及び二次元コードを活用した情報収集を行う。	
事例集作成・編集、 各学校へ配布	令和 6年度	実践事例集を作成し、現場の指導に生かすことは必要であると考え。しかし、現場での効果的な活用を考慮すると、実践事例集の作成よりも、まずは実践を共有する機会、共有方法の検討を行う必要がある。そのため、特別支援教室担当教員連絡会や、特別支援教育に関する研修会等における、各校の実践に関する情報交換の記録を共通様式等にまとめることで、多摩市の地域性を生かした実践の共有を図っていく。		
活用状況の確認・ 評価・検証	令和 7年度			

方向性2 【冊子15～16ページ】

教員の専門性を更に高め、児童・生徒に必要となる資質・能力の育成を進めます。

取組項目				
派遣相談の充実				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
派遣相談の仕組みに関する検証と見直し	令和5年度	○派遣相談をより効果的で大きな成果を得るためにも、学校側が派遣相談に何を求めるのか、何を必要としているのかをより明確に・具体的に捉えたい。	○学校からの要望に応じて、実施時期、実施内容について柔軟に対応する。 ○学校からの相談に応じて、授業相談の活用を提案する。 ○各派遣相談の仕組み、活用場面に関する学校への周知の仕方を検討する。	B
		【令和3～5年度の取り組みより】 巡回相談や授業相談等様々な機会があるが、学校によって利用状況に差がある。専門性を高める時間的余裕がない 校内での利用に関する共通認識がない、等の理由が考えられる。		
今後の取り組み				
取り組みの継続・改善事項の実践	令和6年度	○管理職や特別支援教育コーディネーター同席の場でのフィードバックを継続し、専門家の助言を学校全体で共有できるようにする。		
	令和7年度	○学校への周知方法や手続き方法を検討する。		

取組項目				
中学校特別支援教室導入直後の校内委員会の充実に生かす派遣相談				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
取り組みの継続・改善事項の実践	令和3～5年度	○学びの連続性を踏まえながら、指導や支援の在り方等について小中学校が情報を共有したり、実践事例を共有・検討したり、共に学び研修する機会を設けることが重要であると思う。	○小・中学校の拠点校へ、継続してスーパーバイザーを派遣する。 ○派遣相談実績について検証を行う	
今後の取り組み				
取り組みの継続・改善事項の実践	令和6年度 令和7年度	○小・中学校の拠点校ごとに講師を派遣し、拠点校ごとの課題に対応できるようにする。 ○学期に1回実施する特別支援教室担当者連絡会において、小・中学校が情報共有をしたり好事例の情報交換をしたりする。		

取組項目				
学校用ＰＣへの「ユニバーサルフォント」導入				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
	令和 ３年度		○令和４年度の機器更新に合わせた導入の準備を行った。	A
機器の更新に合わせて導入	令和 ４年度	○学校ＰＣに導入されたフォントの活用は進めている。	○機器更新により導入実施済み。	A
	令和 ５年度		○実施済	A

取組項目				
学習障害の児童・生徒に対する指導・支援方法に特化した研修の実施				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
検証と見直し	令和 5年度	○自校の特別支援教育の教員研修の内容を、校内で活用できるシステムを整備していく。 ○保護者へのアドバイスや保護者の協力も含めた指導方法の研修が必要である。 ○管理職向けの研修も良かったが、通常の学級での合理的配慮の例を入れた研修が必要である。	○管理職研修において学習障害に特化した研修を継続して実施する。 ○学習障害に特化した研修の受講対象者の選定及び受講方法の検討を行う。	B
		【令和3～5年度の取り組みより】 ○学習障害への教員の理解や指導・支援方法に関する知識が不十分であるため、教員全体へ研修の効果が還元される研修方法の検討が必要である。		
今後の取り組み				
取り組みの継続・改善事項の実践	令和 6年度 令和 7年度	○既存の研修において学習障害を取り上げ、幅広く障害理解や指導・支援方法について研修する。 ○研修に参加した教員が自校の教員へ研修内容を還元しやすくなるよう工夫する。 ○既存の研修以外に新たな研修の実施が必要であるか検討する。		

方向性3 【冊子17～21ページ】

「共生社会の実現」に向け、行政・学校・保護者・関係機関の連携の強化を進めます。

①特別支援教育マネジメントチーム

取組項目				
学校への助言・支援業務				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
取り組みの継続・改善事項の実践	令和5年度	○子ども家庭支援センターや児童相談所と特別支援教育マネジメントチームの間で、円滑に情報共有できるよう連携していく。	○年々相談件数が増加している状況にあるため、具体的な方策を考え、教育センター内の各機関との連携も前提に検討していく。	
所員の助言・支援方法の実施	令和6年度	就学相談等を申込みしている保護者で同意を得た場合に限り、教育センター内の各機関のケースについて情報共有を図り、所員と相談員の職機能を効率的に活かすことで、その後の支援業務がスムーズに行えるよう連携していく。		
	令和7年度			

取組項目				
【就学相談】相談件数増加への対応				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
取り組みの継続・改善事項の実践	令和5年度	○相談件数増加に対応できるよう、学級担任と保護者の連携を一層円滑にし、早期相談につなげていく。	○相談員（公認心理師）が1名欠員の中、相談件数の増加している状況のため、引き続き教職経験者の所員による相談業務の対応を行う。 ○相談件数の増加に対応するため、業務の見直しを行うとともに、引き続き欠員分の職員募集を行う。	
検証と見直し	令和6年度 令和7年度	相談員（公認心理師）が1名欠員の中、相談件数の増加している状況のため、引き続き教職経験者の所員による相談業務の対応を行う。 相談件数の増加に対応するため、業務の見直しを行う。		

取組項目				
【転学相談】フォローアップ相談の充実				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
実施	令和 5年度	○フォローアップ相談を活用し、円滑な転学相談につなげていく。	○引き続き、フォローアップ相談を実施し、転学相談に繋げるなどの対応を行う	
検証と見直し	令和 6年度	フォローアップ相談の重点的に関わる年度を就学した年度に絞り込み、継続的な相談対応について、児童・生徒の発達課題も踏まえて対応できるように、教育相談室や発達支援室の相談に引き継いでいく体制を構築する。		
取り組みの継続・改善事項の実践	令和 7年度			

取組項目				
特別支援教室の利用・終了判定の充実				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
取り組みの継続・改善事項の実践	令和5年度	○教育的ニーズに応じた、より具体的で実際の個別目標の設定と、効果的な指導・支援を進めていく事で、児童の変容や行動改善の状況が捉えやすい状況をつくっていききたい	○運営指針に基づき、利用・終了のための判定会の運営について、学校及び保護者への周知もされているため、引き続き行っていく。	
検証・見直し	令和6年度	運営指針に基づく利用・終了のための判定会の運営方法について引き続き検討していく。		
	令和7年度			

②特別支援教育の啓発活動の充実

取組項目				
特別支援教育推進のための普及・啓発活動				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
取り組みの継続・改善事項の実践	令和5年度	○障害者権利条約に基づく勧告では、日本のインクルーシブ教育システムの現状と在り方について大変厳しい内容が示された。ニーズに応じた多様な学びの場の必要性和、皆が共に学び、成長し合う場の大切さ、その双方が大切であり、多摩市としてこれからの基本的な姿勢、考え方を力強く発信していくことも必要であるとする。	○教育支援フォーラムにおいて、第二次特別支援教育推進計画に基づく、取組を広く市民に周知する。 ○インターネット・ゲーム依存に関する動画を、多摩市立教育センターホームページに公開し、広く市民に周知する。	
検証と見直し	令和6年度	特別支援教育にかかる専門家による講演を、発達障害理解啓発講座等で実施し、広く市民に周知を図る。		
	令和7年度			

③保健・福祉部門等との連携の強化

取組項目				
発達支援室と教育センターの初回相談窓口の統合による連携強化				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
検証と見直し	令和 5年度		○昨年度に引き続き、発達支援室と教育相談室で実施し、特別支援教育マネジメントチームで適切な相談・支援について検討を行い対応する。 ○初回相談窓口の相談数が増加傾向にあり周知が進んでいる。	B
		【令和3～5年度の取り組みより】 ○令和2年度より福祉と教育の初回相談窓口を実施し、年々相談数が増加している。周知が図られてきているものの、どこに相談してよいかわからないという声や、相談に行く敷居が高いという声もある。引き続き窓口の周知を行う。 また支援方針会議後の評価の仕組みが必要である。		
今後の取り組み				
取り組みの継続・改善事項の実践	令和 6年度	発達・教育初回相談窓口の周知をさらに図るため、パンフレットを新しく作成し、全校に配布する。		
	令和 7年度	相談につながりやすい仕組みづくりのひとつとして、Webフォームを活用した相談予約方法を導入する。		

取組項目					
特別支援と福祉制度等の情報がわかるハンドブックの作成・活用					
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価	
更新しながら活用	令和5年度	○ハンドブックの効果的な活用について、引き続き検討していく。	○子育て支援課で発行している「多摩市子ども子育てサービスガイド」の中に、就学相談・転学相談の案内が掲載を依頼している。また、福祉制度等の掲載も充実していることから、新たに作成するのではなく、子育て支援課と連携をし、現在あるこの冊子を広く周知していく。		
	令和6年度	令和5年度の評価で実施した内容である、子ども・若者政策課で作成している既存の「子ども子育てサービスガイド」を活用し、市民への周知を図る。			
	令和7年度				

④支援継続ツールについての検討

取組項目					
支援継続ツールについての検討					
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価	
電子化を含めた支援継続ツールの検討・改善	令和5年度		○支援継続ツール(就学支援シート、学校生活支援シート、相談支援ファイル)の継続的な実態把握に努め、活用の促進に向けた方策の検討を行う。		
	令和6年度	就学時、複数のツールがあることで煩雑となっているため、切れ目ない支援に向けた活用方法がされていない実態も把握している。			
	令和7年度	それぞれのツールの意味を理解することで、より活用できるように検討していく。			

方向性4 【冊子22～24ページ】
特別支援教育推進のための環境整備について検討を進めます。

①中学校特別支援教室の運用に関する検討

取組項目				
中学校特別支援教室の運用に関する検討委員会の開催				
取組内容	取組年度	学校の取組	教育委員会の取組	評価
改善策の実施	令和5年度	○小中学校の垣根を越えて、特別支援教室担当者同士の情報共有や、ケース検討や研修会の実施等の場を充実させたい。特別支援教育コーディネーターも含めて取り組めると良い。	○指針に基づく実施状況を確認し、運営指針の周知・徹底を図る。 ○小中学校特別支援教室担当教員連絡会において、各校の取組に関する情報共有の機会を設定する。	
改善策実施後の成果と課題を検討	令和6年度	東京都特別支援教室の運営ガイドラインに基づき、引き続きスムーズな特別支援教室の運営を図っていく。そのために、運営指針の周知もさらに図る。		
再度、改善策を実施	令和7年度			

②小・中学校特別支援学級の整備に関して

多摩市内の特別支援学級の設置数

	学級種別		令和元年度 現在	令和7年度※
特別 支援 学級	知的障害学級 (固定学級)	小学校	3校	3校
		中学校	3校	3校
	自閉症・情緒障害学級 (固定学級)	小学校	4校	4校
		中学校	2校	2校
	難聴通級指導学級・ 言語障害通級指導学級	小学校	2校	2校

※今後のニーズの変化に応じて設置校数を検討

※情緒障害等通級指導学級は特別支援教室に制度変更となり、多摩市では平成29年度から小学校の全校に特別支援教室を設置。中学校については、令和3年度から全校に設置。

○特別支援学級への入級者数、全児童・生徒に対する入級者の割合は増加傾向にあるが、現在の学級人数の状況を見ながら、特別支援学級の整備について引き続き検討を行っていく。